

～「真珠のようにきらり輝く鳥羽」をめざして～

平成 26 年度の当初予算をお知らせします

総額 199 億 1,622 万円

6つの重点施策

- 今後予想される東海・東南海・南海地震に備える災害に強いまちづくり施策 **防災関係**
- 人口減少に歯止めをかける若者等への定住促進施策 **定住促進**
- 子育て支援や高齢者対策などの福祉施策 **福祉**
- 「みんなが歩くまち、歩けるまち」を目指し、健康維持・増進等のために歩く人たちをサポートするまちづくり施策 **ウォーキング**
- 市街地活性化及び活性化のための起業者応援施策 **市街地活性化**
- 市制 60 周年記念事業 **市制 60 周年記念事業**

平成 26 年度の当初予算が第 1 回定例市議会で可決されましたのでお知らせします。

一般会計予算は 103 億 1,000 万円で、前年度に比べ 1.3% 減となっています。また、国民健康保険事業などの 5 つの特別会計予算は合計で 71 億 5,470 万円、水道事業会計予算は 24 億 5,152 万円で、これらの会計を合わせた予算総額は 199 億 1,622 万円となります。

なお、前年度は骨格予算として編成したため、平成 25 年度 6 月補正後の予算と比較しています。

基幹財源である市税が依然として伸び悩み、自主財源の確保が一層厳しいものとなる中、第五次鳥羽市総合計画「真珠のようにきらり輝く鳥羽」の実現を目指し、限られた財源の中で「集中と選択」の視点を一層強化し、計画的かつ効果的に事業展開を行うこととして、次の 6 つの施策に重点を置いて予算編成を行いました。

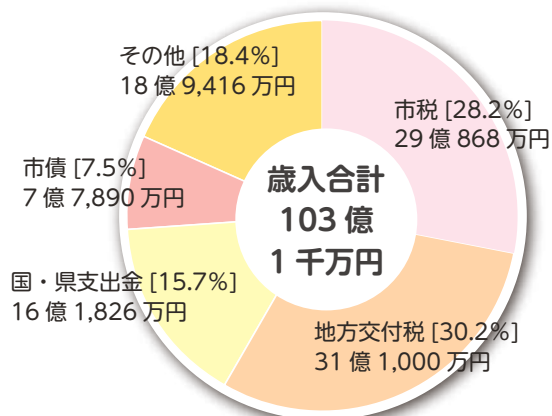
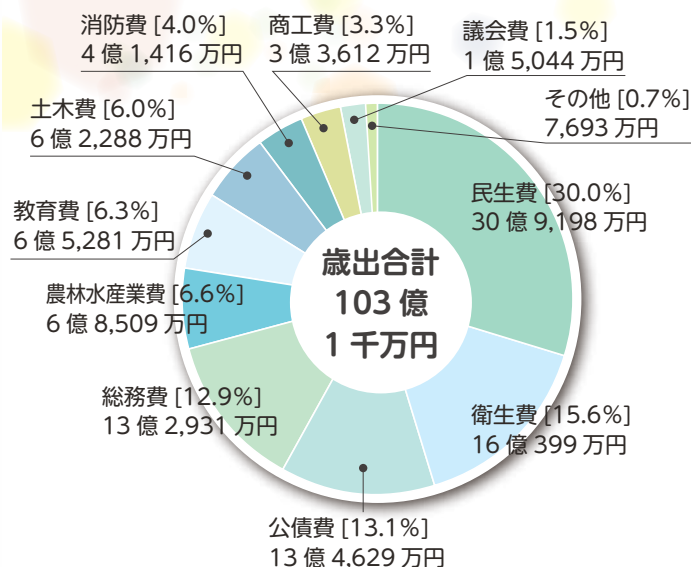
一般会計予算の概要

平成 26 年度 鳥羽市予算

(単位：千円・%)

会計名		平成 26 年度	平成 25 年度 (6 月補正後)	前年度比較	
				増減額	伸率
一 般 会 計		10,310,000	10,449,000	△ 139,000	△ 1.3
特別会計	国民健康保険事業	3,447,500	3,196,700	250,800	7.8
	介護保険事業	2,470,000	2,242,100	227,900	10.2
	定期航路事業	598,500	564,800	33,700	6.0
	特定環境保全公共下水道事業	148,700	148,400	300	0.2
	後期高齢者医療	490,000	461,720	28,280	6.1
	小 計	7,154,700	6,613,720	540,980	8.2
企業会計	水道事業	2,451,520	1,647,160	804,360	48.8
合 計		19,916,220	18,709,880	1,206,340	6.4

一般会計予算 103 億 1 千万円 前年比 1.3% (1 億 3 千 9 百万円) 減額



市民一人当たりで計算すると ...

負担するお金	
市税	139,304 円

※市税 29 億 868 万円を 3 月 1 日現在の人口 20,880 人で割ったものです。

使われるお金			
民生費…高齢者福祉、児童福祉など	148,084 円	衛生費…保健衛生やごみ、し尿の処理など	76,819 円
公債費…市の借入金の返済	64,478 円	総務費…市全般の管理事務など	63,664 円
農林水産業費…農林水産業の振興など	32,811 円	教育費…小・中学校や幼稚園の整備など	31,265 円
土木費…道路、河川、都市計画など	29,831 円	消防費…消防、救急、救助など	19,835 円
商工費…商工業、観光の振興など	16,098 円	議会費…議会の運営など	7,205 円
その他…災害復旧費用ほか	3,684 円	合 計	493,774 円

※目的別の予算を、3 月 1 日現在の人口 20,880 人で割ったものです。

収 入		入	
一般会計予算		家 計 簿	
市税などの自主財源	44 億 4,123 万 6 千円	→ 月収 (給料など)	148,041 円
国・県支出金などの依存財源	50 億 8,986 万 4 千円	→ 親からなどの援助	169,662 円
市債などの借入金	7 億 7,890 万円	→ 借入などで賄っている額	25,964 円
うち建設的な市債	3 億 3,640 万円	→ うち住宅借入	11,214 円
うち特例的な市債	4 億 4,250 万円	→ うち生活借入	14,750 円
収入計	103 億 1,000 万円	→ 収入計	343,667 円

支 出		出	
一般会計予算		家 計 簿	
公債費	13 億 4,629 万 3 千円	→ 借入の返済	44,876 円
人件費	25 億 489 万 6 千円	→ 生活必需費	83,496 円
扶助費	12 億 3,149 万 9 千円	→ 家族の医療費	41,050 円
物件費など	16 億 8,356 万 2 千円	→ 光熱水費など	56,119 円
投資的経費・維持補修	11 億 6,547 万 1 千円	→ 自宅の新築・増改築	38,849 円
補助費等・出資金・貸付金	12 億 2,608 万 9 千円	→ 町内会費など	40,870 円
繰出金	9 億 8,614 万 7 千円	→ 子どもなどへの仕送り	32,872 円
積立金	1 億 6,604 万 3 千円	→ 貯金	5,535 円
支出計	103 億 1,000 万円	→ 支出計	343,667 円

資 産 の 状 況			
基金	13 億 8,463 万 5 千円	→ 預貯金残高	46,155 円
市債残高	132 億 8,179 万 1 千円	→ 借入残高	442,726 円

市の予算は、「億」単位で数字が大きすぎて実感がありません。そこで平成 26 年度一般会計予算額を分かりやすくするために、3 万分の 1 に圧縮して家計の 1 か月分に例えてみました。

平成 26 年度予算額を家計簿にすると...

平成26年度に

取り組む主な事業を紹介します

めざす
まちの姿

学びたい・働きたい・住み続けたいという 思いが育つまち

鳥羽への移住・定住応援事業 **定住促進**

3,585 万円

次代を担う若者の市内への定住促進を図る「定住応援事業奨励金」を拡充して、市有地購入者に対して、新たな奨励金を交付します。また、市内外へ本市の特色ある取り組みを広くPRすることで、移住を促進し、地域の活性化につなげていきます。

子育て応援事業

福祉

460 万円

新たな命を育まれた世帯に、子育て関連用品が購入できる「とばっ子子育て応援券」を交付し、子育て支援の充実を図ります。今年度は、新たにチャイルドシート購入費に対する助成を行います。



母子保健事業

福祉

2,183 万円



妊婦健康診査にかかる費用を公費で負担するほか、その交通費相当額を助成します。また、不育症治療費の一部助成を行います。

若年者起業育成支援事業 **市街地活性化**

32 万円

起業を志すかたにビジネスノウハウを提供するための起業セミナーを行います。

TOBAウォーク事業

ウォーキング

94 万円

青峯山古道（近畿自然歩道）などでウォーキング大会を開催し、歴史ある古道を広く周知するとともに、市民のかたの健康増進を図ります。

学力向上推進事業

161 万円

学級満足度や学力定着状況の調査を行い、その結果に基づいて、指導方法を協議・改善することで、児童生徒の学力向上の推進を図ります。

めざす
まちの姿

自然と調和した営みが広がるまち

森と海・きずな事業 2,730 万円

森林の持つ本来の機能を回復させ、下流において豊かな海の育みを図るため、生産林・環境林の整備を引き続き実施するとともに、間伐材を搬出し、木質エネルギーの利活用を図ります。



建築物耐震化促進事業 3,312 万円

地震による建築物の倒壊の被害から生命、身体、財産を守るため、個人木造住宅の耐震化に対する補助支援を行います。また、法律の改正によって義務付けられた、不特定多数の人が利用する大規模建築物の耐震診断にかかる費用を新たに補助します。

地域交通事業 7,501 万円

車などで移動できないかたの移動手段を確保するため、「かもめバス」を運行します。

地方道路整備事業 2億 1,204 万円

道路利用者の安全と道路施設の老朽化対策、防災・減災対策を推進し、道路環境の充実と安全を図ります。



鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち

地域産物生産販売振興事業

2億 3,324 万円

平成 26 年夏の開設を目指し、佐田浜農水産物直売所の建設と周辺の整備を行います。



漁港整備事業

2億 6,557 万円

各漁港施設の改良、整備を行い施設の機能向上を図ります。



中心市街地活性化事業

市街地活性化

240 万円

空き店舗を改修して開設する事業所を支援することで、中心市街地の活性化につなげていきます。

鳥羽HOSUプロジェクト推進事業

400 万円



日本の祝い魚（伊勢海老、アワビ、鯛）の消費拡大と、それらを活かした地域活性化および海女文化、干す文化の継承を目的とした「鳥羽HOSUプロジェクト協議会」への補助支援を行います。

離島の魅力創出事業

604 万円



潮騒を聴くことにより身体に得られるリラックス効果の検証を実施するほか、離島の持つ優れた観光資源を発掘し、魅力ある観光地づくりに取り組みます。

文化財保存推進事業

1,116 万円

国の登録有形文化財である旧鳥羽小学校の保存活用計画を策定するほか、九鬼嘉隆の肖像画のレプリカを作成します。



まちづくり整備事業

4,154 万円

歴史・文化・観光などの資源を活かしたまちづくりを推進するため、都市再生整備計画に基づいて整備を行い、にぎわいのあるまちづくりを目指します。

生きがいや安心をみんなでつくるまち

防災対策事業

防災関係

4,257 万円

町内会・自治会が行う津波避難路の整備を支援するほか、一斉津波避難訓練などの実施や災害時における物資供給の協力制度を創設するなど、災害に強いまちづくりを進めます。

ウォーキングサポート事業

ウォーキング

209 万円

市民のかたの健康維持・増進を図るため、ウォーキングサイン板を設置するとともに講師を招いて「みんなでウォーキング」を開催します。また、日常的なウォーキングに適したコースを選定し、ウォーキングマップを作成します。

へき地医療対策事業

4 億 1,183 万円

へき地の医療を支える診療所の医療機器などを整備し、地域住民のかたが安心して受診できる医療体制の充実を図ります。また、今年度は、鏡浦診療所石鏡分室の新設移転を行います。



いきいきお出かけ券事業

福祉

1,141 万円

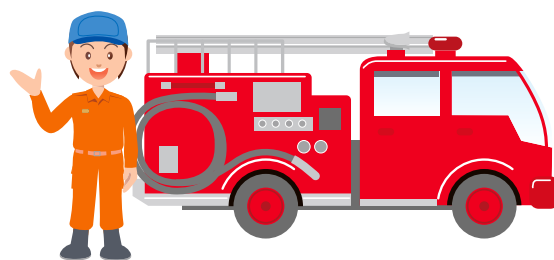
4 月 1 日現在で 70 歳以上のかたが、市営定期船やかもめバス、近鉄電車のいずれか一つを利用したときの運賃助成を行うことで、一人でも仲間でも、いきいきと外出できるよう支援します。



消防車両整備事業

2,448 万円

市民のかたや観光客の生命、財産を災害などから守るため、消防ポンプ自動車を更新し、消防・救急体制の充実を図ります。



無駄なく効果の高い行政経営が進むまち

市制 60 周年記念事業 1,063 万円

市制 60 周年記念事業

市制 60 周年という節目を迎えるにあたり、記念式典や記念番組の制作、ウォーキングイベントなど各種記念事業を開催します。

くわしくは、広報とば今号 8～9 ページをご覧ください。

コミュニティセンター建設事業

969 万円

地域社会における住民の多様なコミュニティ活動や交流の場など、地域社会づくりを図る施設として、答志和具コミュニティセンター建設に向けた設計業務を行います。

